

人を豊かに、地球を美しく

松田産業株式会社 会社説明会



松田産業株式会社 (証券コード：7456)

2024年2月26日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1.	会社概要	P. 4
2.	事業概要	P. 10
3.	業績推移	P. 25
4.	中期目標・投資計画	P. 29
5.	財務戦略・株主還元	P. 33

1. 会社概要

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

貴金属関連事業

貴金属などの資源リサイクルで
循環型社会の構築に貢献



食品関連事業

安全安心な食材の安定提供で
人の豊かさに貢献



持続的成長
サイクル

事業機会
拡大

社会課題
解決に貢献

貢献できるSDGs



会社名	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル6F
設立	1951年6月
代表者	代表取締役社長 松田 芳明
資本金	35億5,920万円
株式	東京証券取引所プライム市場（証券コード：7456）
従業員数	1,605名
売上高	3,510億円
事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、産業廃棄物の収集・運搬・処理、食品加工原材料の卸売 等
事業所	<p>[国内事業所] 本部、北海道、宮城、茨城、東京、埼玉、神奈川、長野、静岡、愛知、大阪、石川、愛媛、広島、福岡、鹿児島</p> <p>[生産技術拠点] 埼玉県入間市、岐阜県関市</p> <p>[海外拠点] シンガポール / タイ(アユタヤ・ピントン・バンコク) / フィリピン / マレーシア / 中国 / ベトナム(フンエン・ホーチミン) / 台湾 / 韓国 / インド</p>
関係会社	マツダ流通(株)、マツダ環境(株)、日本メディカルテクノロジー(株)、北海道アオキ化学(株)、ゼロ・ジャパン(株)、ガルフ食品(株)、日鉄マイクロメタル(株)

(2023年3月31日時点)

Our Origin

はじまりは

もったいない精神



チャレンジ精神

1935

写真感光材料



もったいない精神
チャレンジ精神



銀地金



資源の有効活用

貴金属関連事業の創業

1948

マヨネーズ工場の卵白



もったいない精神
チャレンジ精神



練り製品の「つなぎ」

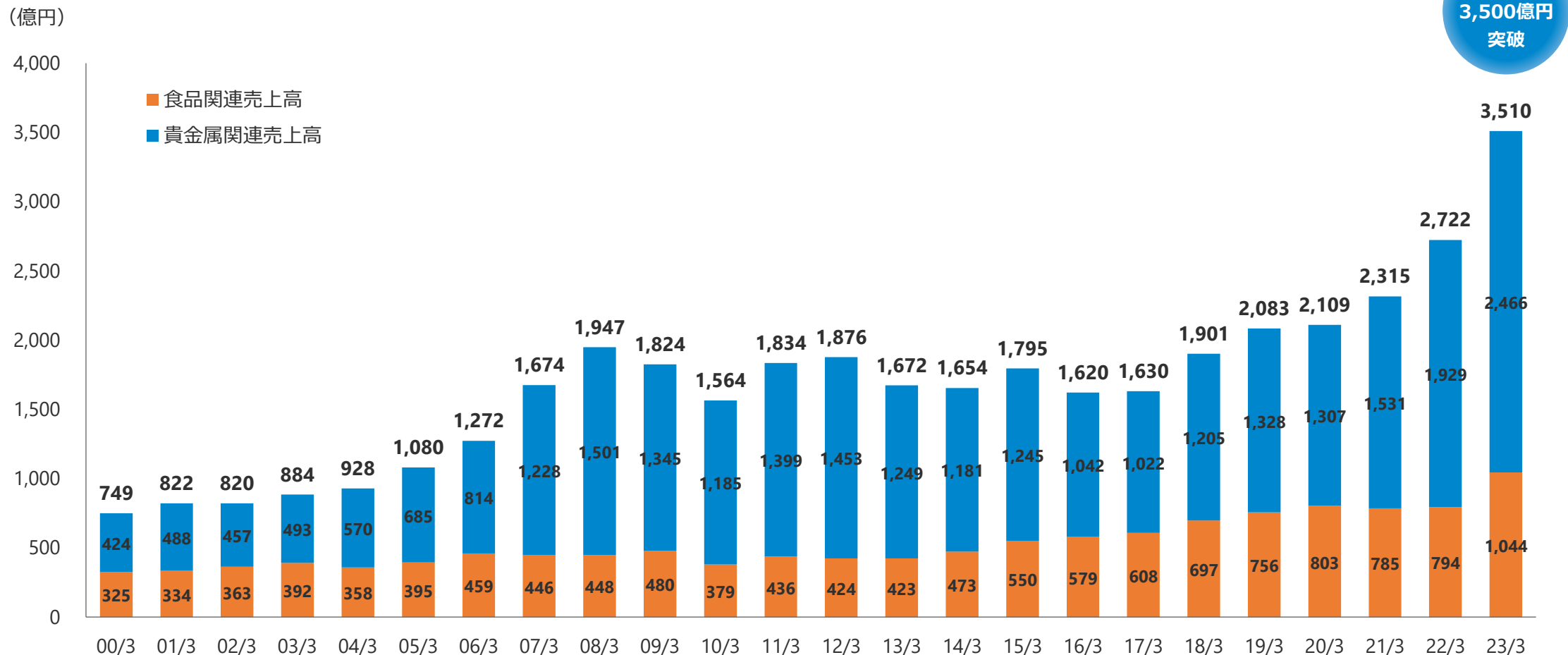


資源の有効活用

食品関連事業の創業



社会の変化とともに、持続可能な成長軌道を実現
23年3月期では過去最高の業績を更新（売上高3,500億円を突破）



売上高
3,500億円
突破

2. 事業概要

Vision

資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー

貴金属含有スペックアウト品等から高い回収率で貴金属を回収し、多様な貴金属製品を提供することで、資源リサイクルに貢献



循環型ビジネスモデル（貴金属のリサイクル）で社会に貢献



松田産業の強み

高度な精製技術

高度なセキュリティ体制

一貫したリサイクルシステムによるフルレンジ提供

東アジアでのネットワーク確立

世界に通用するMATSUDAブランドの確立

循環型事業へのニーズの高まり

お客様の知的財産情報の漏えいを防ぎ、安全を守る万全のセキュリティ体制

独自に開発した専用粉砕車をいち早く整備し、お客様の工場敷地内での立会い粉砕、回収を実現。
高度なセキュリティ体制と厳しい入退室管理システムに守られた自社工場で処理することで、お客様の大切な知的財産の漏えいを防止します。



破砕車



X線検査装置



ICカード入退室システム



複数設置された場内監視カメラ

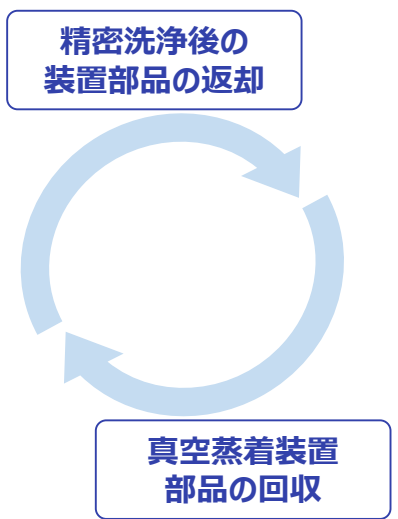


セキュリティゲート



金属探知装置

真空蒸着装置の部品・治具等を回収し、高度な剥離・洗浄技術によってクリーンな状態に再生し、
更に剥離物をリサイクル



全国をカバーする許認可網と収集運搬ネットワークで環境保全活動を強力にバックアップ



廃液濃縮・高温酸化処理設備（MCRシステム）

1996年に日本初の大規模な陸上処理施設を導入



● 物流拠点
● 生産拠点

47都道府県・3政令市で

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の
収集運搬業許可を取得しています。

物流・
積替
保管



仙台ヤード（宮城）



大阪ヤード（大阪）



狭山事業場（埼玉）



関第2工場（岐阜）



海外展開を通じて、東アジアでNo. 1のリサイクラーへ



高度なリサイクル技術から生み出された貴金属地金は、MATSUDAブランドへの信頼によって世界で流通

ブランド登録市場

東京工業品取引所

LBMA
(ロンドン金銀市場協会)

LPPM
(ロンドンプラチナパラジウム市場)



金地金



銀地金



LBMA認定証

顧客ニーズ

サーキュラエコノミー

リサイクル資源の活用

高品質・高効率・
安全供給

環境保全
(サステナビリティ)

資源リサイクルの
総合力と環境価値

環境負荷低減/
製品・サービスの提供

高機能電子材料/
開発・販売の強化

リサイクル技術の応用/
物流ネットワーク機能/
無害化処理技術/スキーム作り

技術開発/生産インフラ拡充/
品質管理体制の強化

シェア拡大
新規市場開拓
(国内・海外)

電子デバイス業界

化学/自動車業界

二次電池

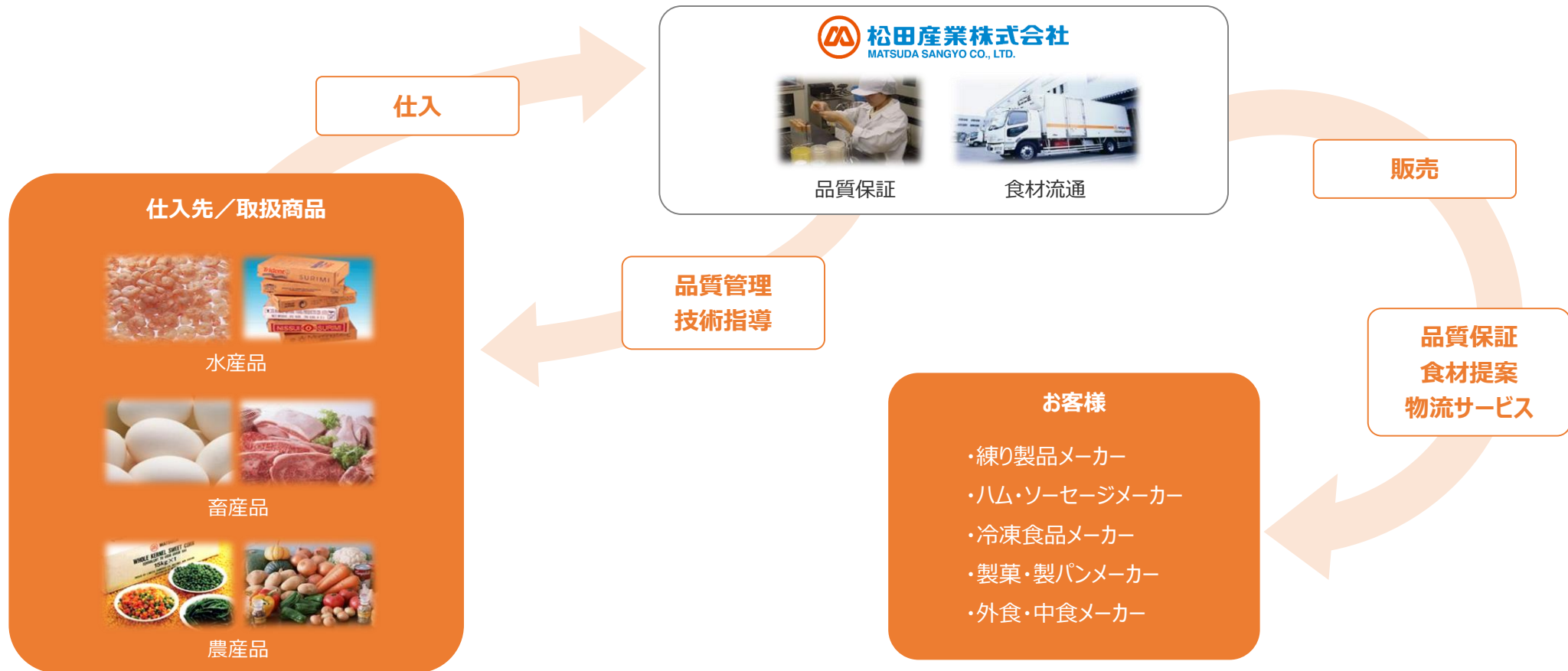
E-スクラップ市場

資源循環（活用）を
創造する
リーディングカンパニー

Vision

お客様の商品開発のベストパートナー

お客様のニーズにお応えし、徹底した品質管理のもと、世界各国の産地から安全安心な原材料を安定提供



食材の安定供給と資源の有効活用が2大使命



松田産業の強み

グローバルな調達ネットワーク

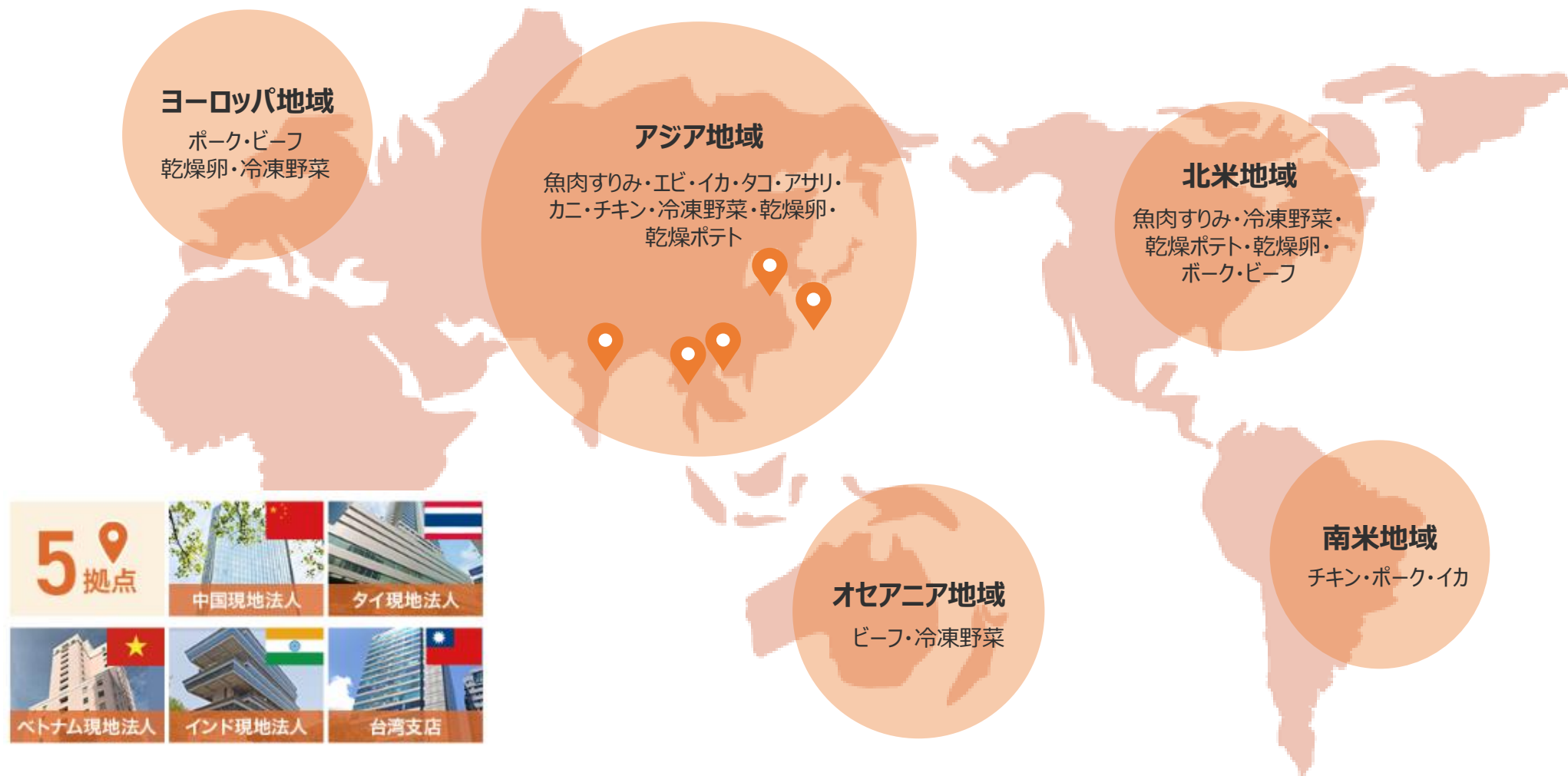
商品提案機能

納入前の現地加工と資源の有効活用

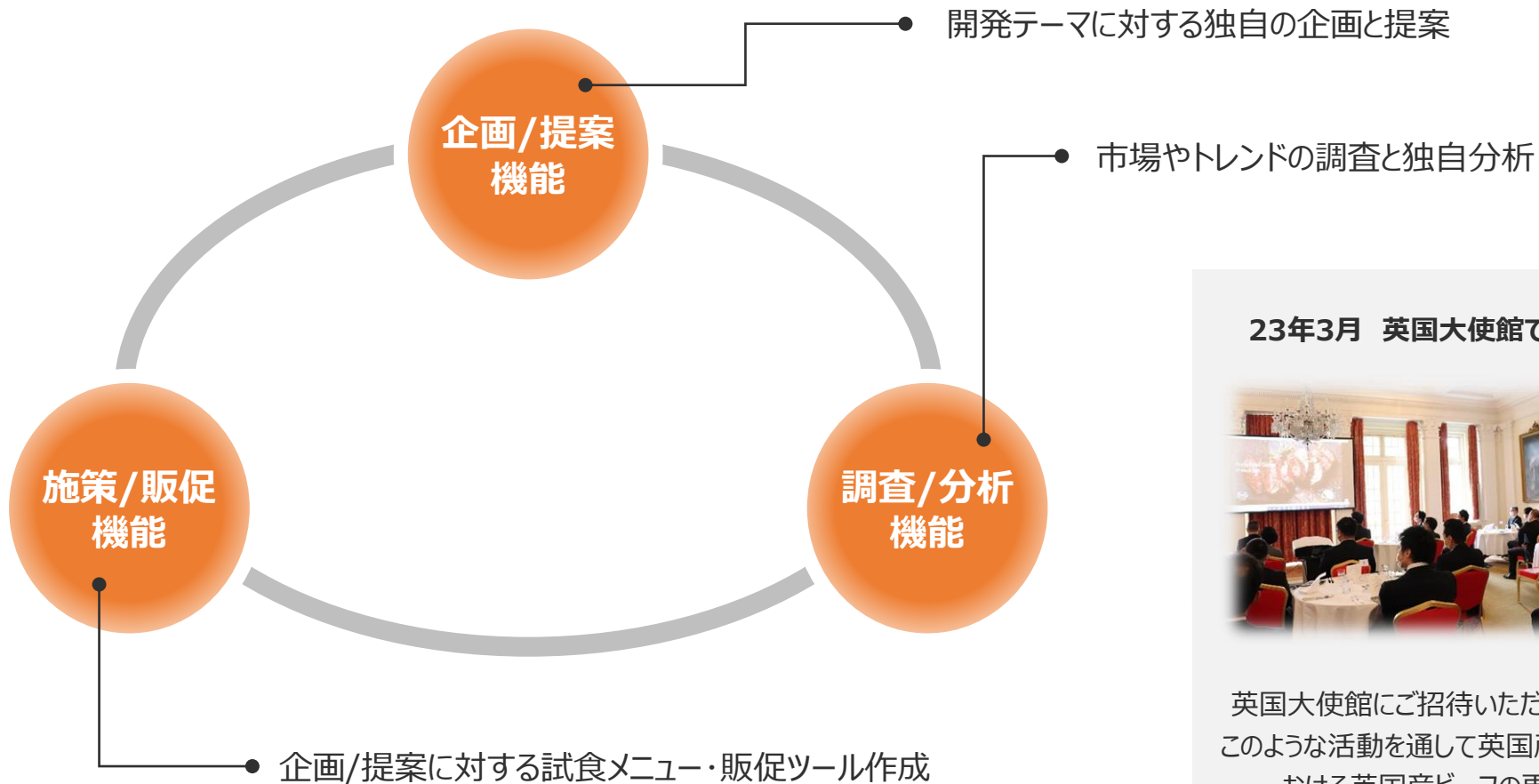
グローバルな品質管理体制

サプライチェーン全体管理による食の安定供給

グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達



独自の市場分析やメニュー開発により、お客様のニーズにそった商品・メニューを企画・提案

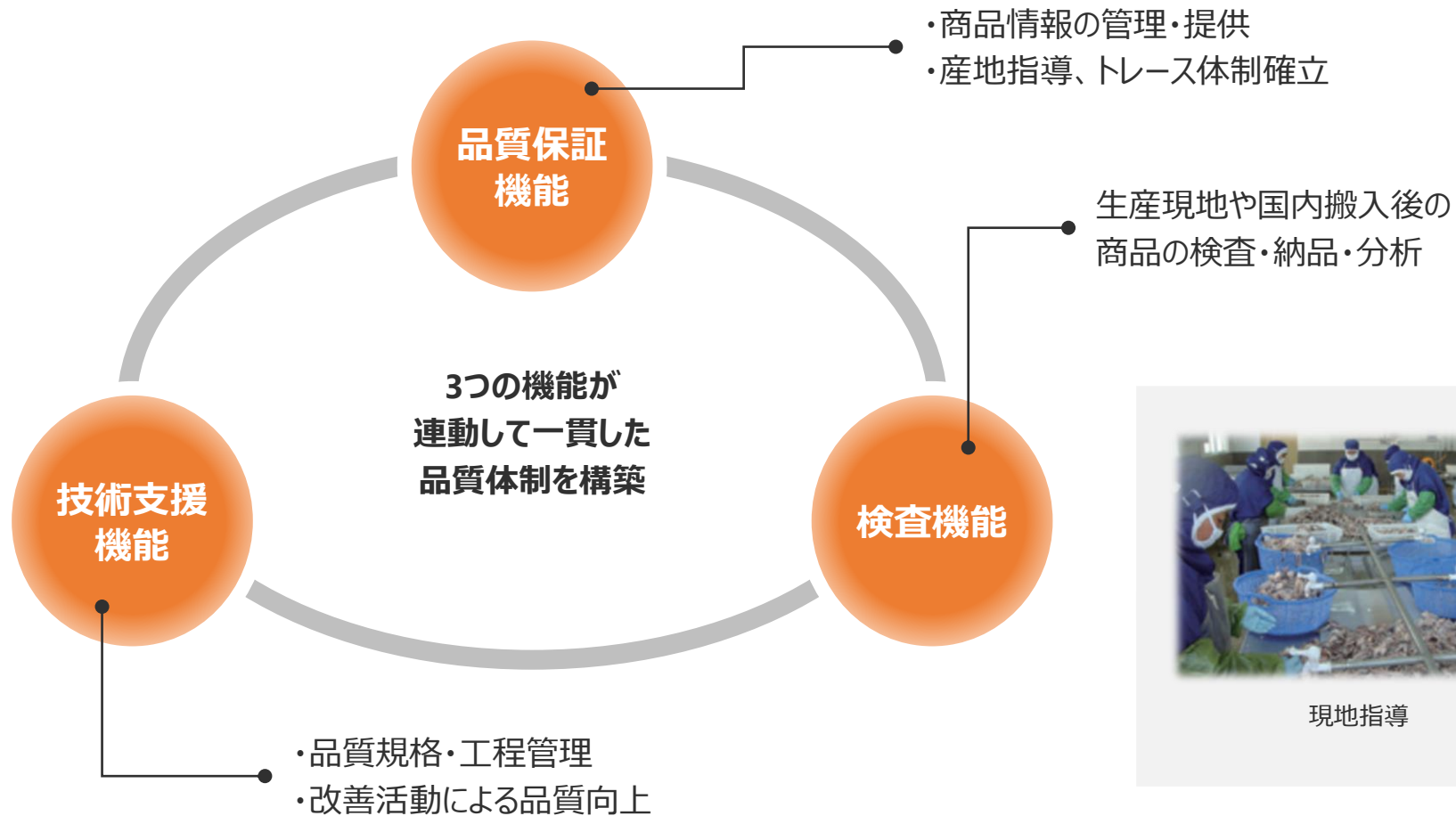


23年3月 英国大使館でのビーフセミナー・試食会の様子



英国大使館にご招待いただきセミナーと試食会を実施しました。このような活動を通して英国産ビーフの認知度向上と日本市場における英国産ビーフの更なる拡大に取り組んでいます。

お客様の求める品質の維持・向上と安全安心な商品の提供に取り組んでいます



現地指導



品質保証室のサンプリング検査

顧客ニーズ

安全・安心な食材

安定供給

生産効率

サステナビリティ

商品開発&機能構築
&提案力

国内外の仕入先拡充/
商品ラインナップ

食品原材料販売
(コア)の強化

グローバルな商流・
スキームの構築

品質保証、技術支援の機能強化
/一貫した品質確保体制の構築

シェア拡大
新規市場開拓
(国内・海外)

冷凍食品業界

製菓・製パン業界

ハム・ソーセージ業界

水産練り製品業界

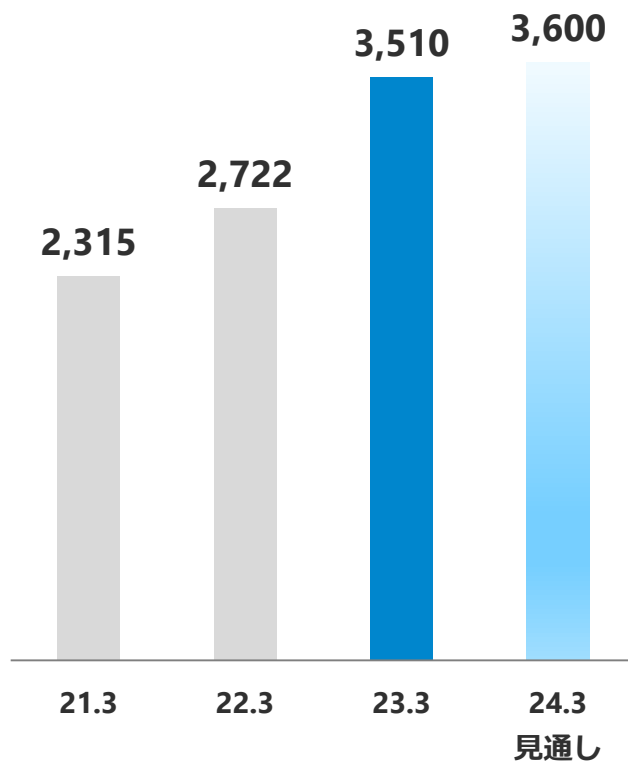
中食・外食業界

お客様の商品開発の
ベストパートナー

3. 業績推移

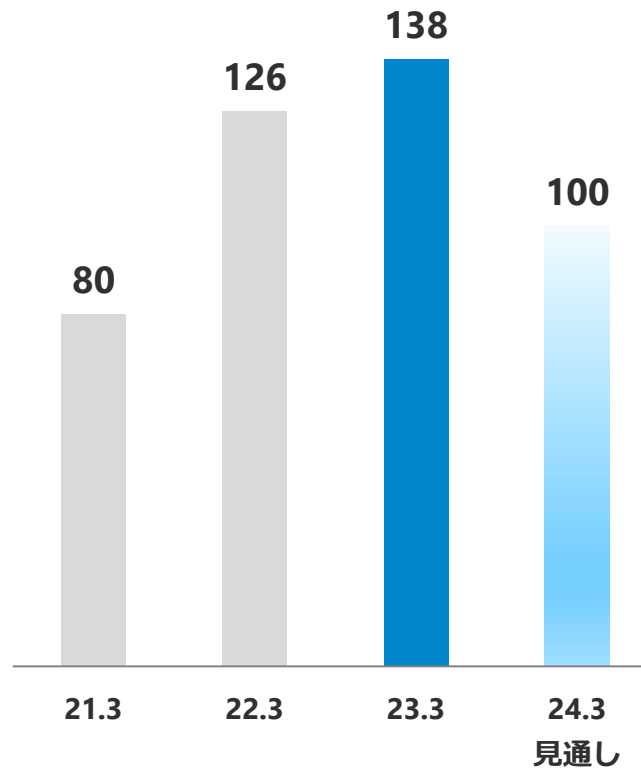
売上高

(億円)



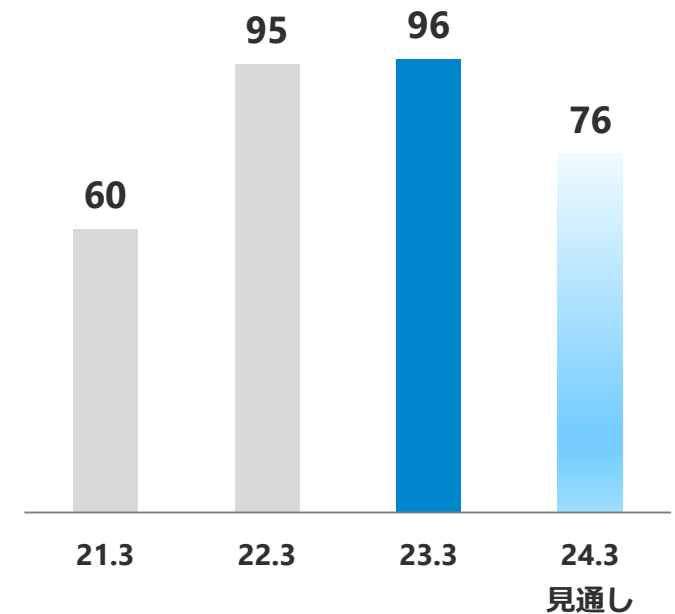
営業利益

(億円)



当期純利益

(億円)



連結貸借対照表

(億円)

【資産の部】

	21年3月末	22年3月末	23年3月末
流動資産	764	860	893
固定資産	277	297	398
資産合計	1,042	1,157	1,292

【負債の部】

	21年3月末	22年3月末	23年3月末
流動負債	293	335	278
固定負債	93	77	166
負債合計	386	413	445
(うち有利子負債)	172	163	192

【純資産の部】

	21年3月末	22年3月末	23年3月末
純資産合計	656	744	846
負債純資産合計	1,042	1,157	1,292
自己資本比率	62.8%	64.2%	65.4%

(億円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期
営業キャッシュ・フロー	1	70	106
投資キャッシュ・フロー	▲31	▲25	▲121
フリー・キャッシュ・フロー	▲30	45	▲15
財務キャッシュ・フロー	2	▲22	13
現金及び現金同等物の増減	▲28	25	3
現金及び現金同等物の期末残高	88	113	117

4. 中期目標と投資計画

中期経営計画（2022-2025年度）の目標

	FY16-18 平均	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 予想	(億円) FY25 目標
売上高	1,871	2,382	3,510	3,600	3,000
営業利益	42	90	138	100	130
営業利益率	2.2%	3.7%	3.9%	2.8%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	12.2%	-	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	11.3%	-	10.0%

- 22年度（23/3期）は、過去最高の業績を更新し中期計画目標値を前倒しで達成
- 23年度（24/3期）は、貴金属関連事業の外部環境悪化により、大幅減益の予想
- 電子デバイス市場の回復及び成長と、当社両事業のシェア拡大・新規獲得で目標達成へ

基本方針

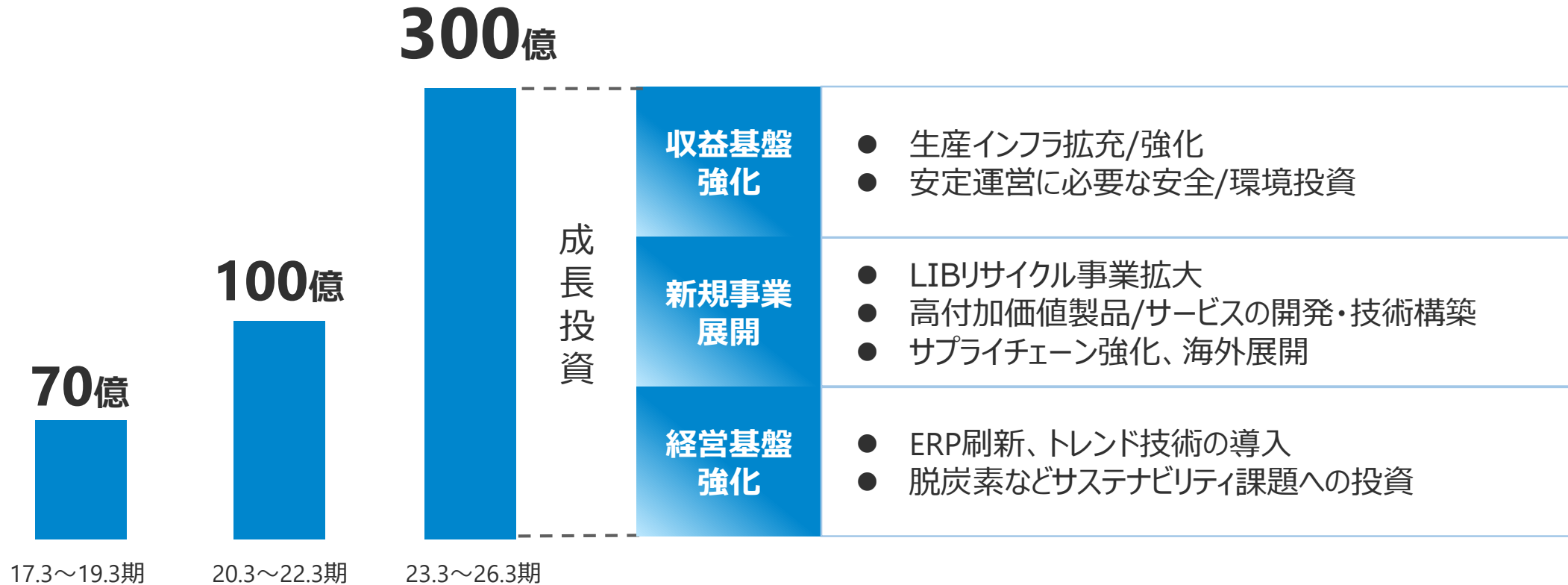
貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- サステナビリティ経営の推進で企業価値向上

投資計画 (2022-2025年度)

総額 **300億**
(4力年累計)

- 収益基盤強化・新規事業展開・経営基盤強化の各領域に積極投資し、更なる成長実現へ
- 成長投資は、財務健全性の確保とび株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分



5. 財務戦略・株主還元

基本方針

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

成長投資と営業C/Fの確保

- 収益基盤強化、新規事業展開、経営基盤強化に向け成長投資を積極的に実施
- 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分

自己資本比率の維持

- 自己資本比率60%超を維持

事業機会
(成長投資)

持続的な
企業価値向上

財務健全性

株主還元

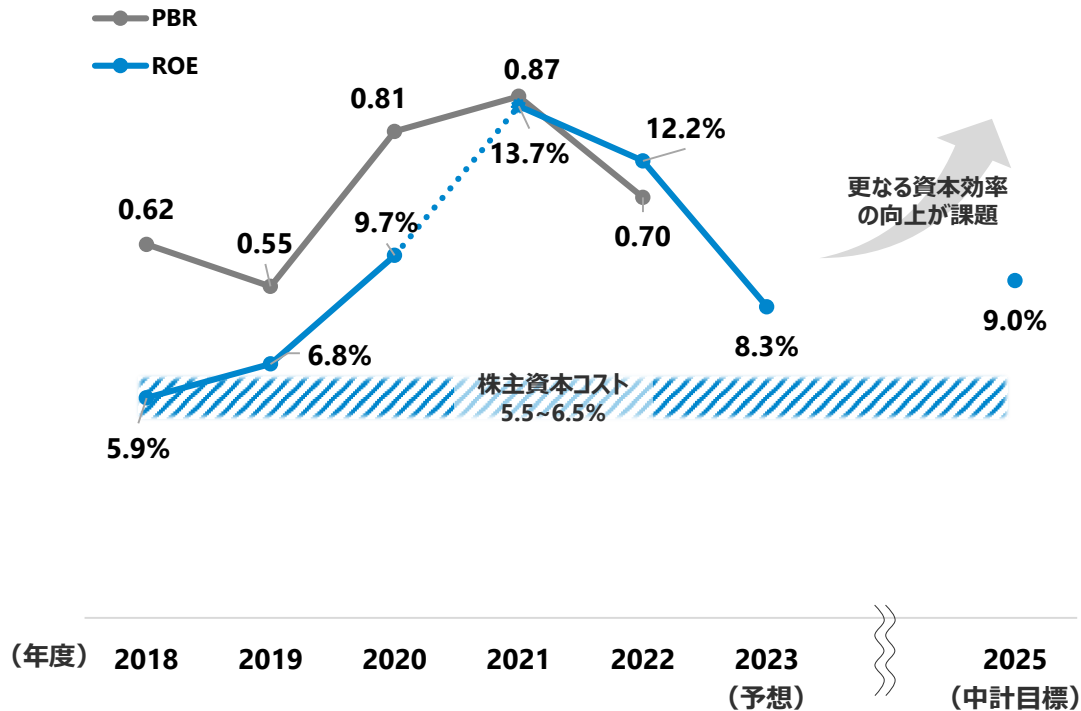
安定かつ持続的な配当

- 株主資本配当率(DOE)1.5%以上を目安にした還元

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

株主資本コストを上回るROEを達成しているものの、PBRは0.7倍程度にとどまり、
足元では、資本収益性が低下傾向にある

PBR・ROE・株主資本コストの推移



- 2022年度では、4期連続の増収増益を達成するなど、好調な業績に伴いROEは12.2%となり、当社の株主資本コスト（5.5~6.5%で推移）を大きく上回る水準に
- エクイティ・スプレッドが拡大する中で、PBRは0.7倍程度にとどまり、2021年度を境に、ROEが低下傾向にある
- PBRの1倍割れは、次の要因にあると分析
 - ・ ROEが低下傾向の中で、さらに2023年度の業績/ROE低下予想
 - ・ 持続的成長に対する不透明感による成長期待の低下
 - ・ 株主還元への評価
- PBRの改善に向けた課題は、資本収益性の低下を抑え改善に繋げるための「資本効率の向上」と、投資家及び株主への「成長期待の醸成」と認識する

PBR改善に向けた方針と取り組み

方針

PBR改善に繋がる資本収益性の向上に向けて、中期経営計画の着実な推進で経営目標の達成を目指すとともに、「資本効率の向上」と「成長期待の醸成」を重要課題として、施策の実行に取り組む。

中期経営計画（2022～2025年度）

（2025年度目標）

売上高 3,000億円	営業利益 130億円	営業利益率 4.3%	ROE 9.0%	ROA 10.0%
----------------	---------------	---------------	-------------	--------------

<基本方針>

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- サステナビリティ経営の推進で企業価値向上

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

経営基盤強化

（重要課題と施策）

資本効率 の向上

ROIC経営の推進

ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す

資本政策の的確な実行

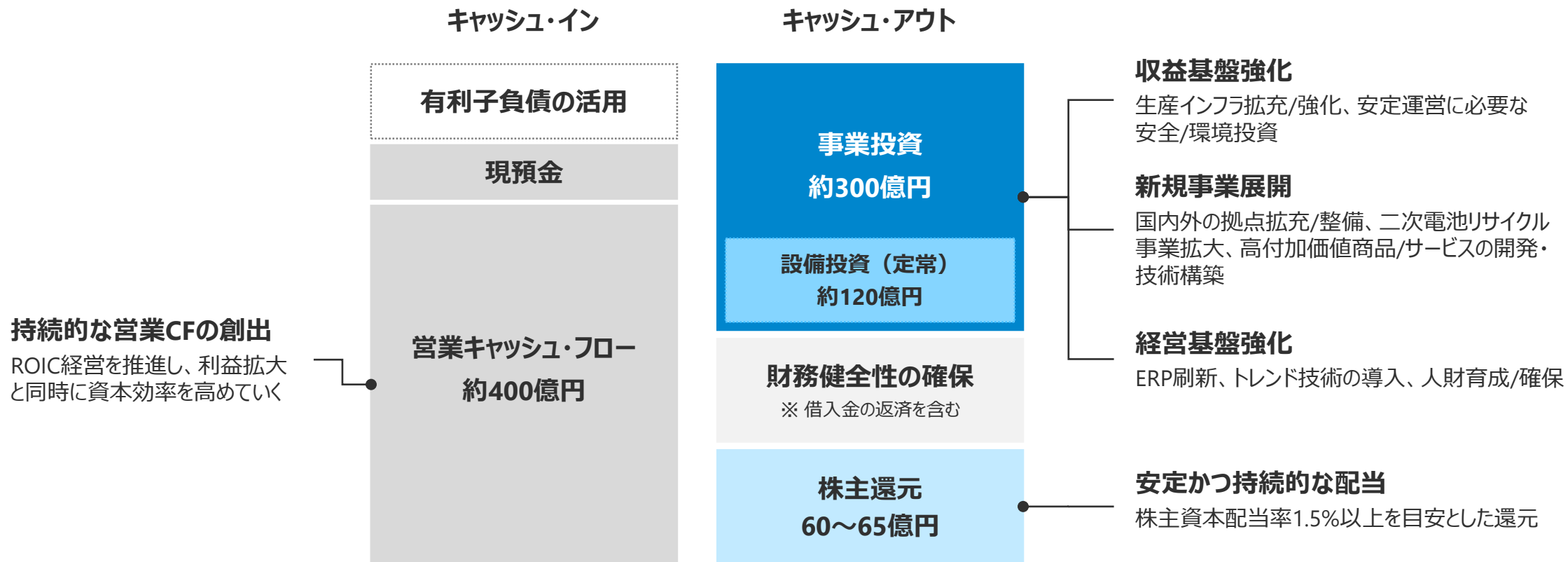
財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する

成長期待 の醸成

IR活動の強化

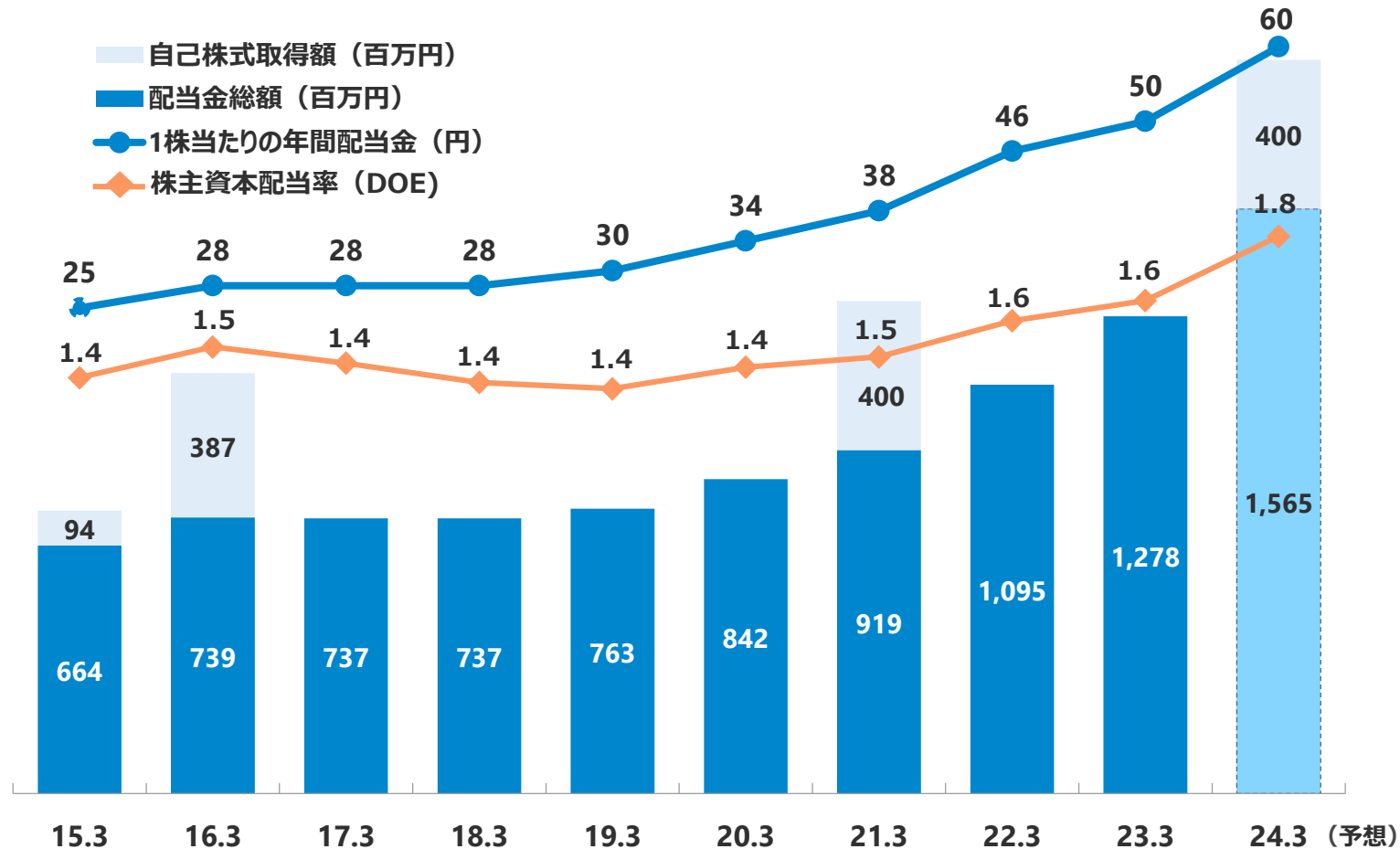
投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす

＜中期経営計画（2022-2025年度）に基づく、4カ年のキャッシュ・アロケーション想定＞



株主還元（方針）

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



6年連続の増配を予定

【年間】60円予想
(前期比 +10円)

QUOカード

- 毎年3月31日現在、当社株式を1単位(100株)以上かつ1年以上継続して保有する国内在住の株主様に、一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈。
(1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様をいいます。)
- 毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送予定。



カレンダー

- 3月末の株主様を対象にご希望をお伺いし、ご希望された株主様に「カレンダー」を贈呈。
- 毎年1回、12月初旬頃に発送予定。





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.